

2) 駆動ハロー

(1) 用途

プラウ耕などの1次耕うん後の大きな土塊を2次耕うんとして細かく砕き、均平整地し播種床を作るのに使用する。

(2) 構造

砕土作業は、一般のロータリーでも行われるが、専用の駆動型ハローには、砕土ロータリー（ロータリー・ハロー）やコンビネーション・ハローなどがある。

砕土ロータリー（ロータリー・ハロー）

普通のロータリーとほぼ同じ構造で、トラクターのPTOで駆動するものであり、動力の伝達方式により、センター・ドライブ式とサイド・ドライブ式とがある。普通のロータリーと異なる点は、回転速度を速め、刃の数を多くして耕うんピッチを小さくして砕土効果を高め、また、作業幅を大きくしていることである。一般的には、ディスク・ハローで粗砕土してからロータリー・ハローをかけるのが原則である。なお、次項の代かき専用ロータリーもこの一種である。

コンビネーション・ハロー（複合ハロー）

2種以上の砕土作用の異なるハローを組合せたものである。PTO軸で駆動される縦軸回転形の歯かんとかごローター、ディスク・ハローとロータリー・ハロー、ディスク・ハローとかごローターなどの組合せがある。組合せることにより、下層土の粗砕土と鎮圧が、また、表層土の細砕土と均平化が同時に図れる利点がある。

(3) 取扱上の留意点

ロータリー・ハローは砕土・均平性が良い。ただし、軽しょう土の場合には、砕土し過ぎると干ばつの影響を受けたり、降雨によって土壌がしまりやすくなったりするので注意が必要である。

(4) 安全作業のポイント

トラクターと本機両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。

PTO軸や可動部のカバーは常に所定の位

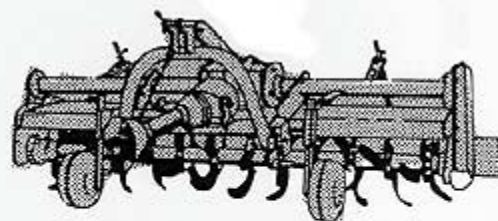
置に付けておく。

点検・調整・修理あるいは巻付き除去は、必ずトラクターのエンジンを止めてから行う。着脱時には作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。

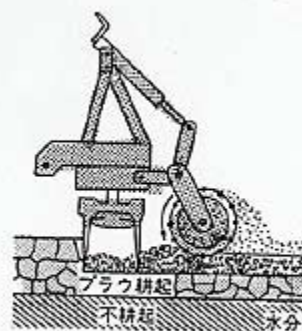
始動・発進・後進時には必ず周囲に人がいないことを確認する。

移動時には他車との追突や接触に注意する（予防対策として反射材などを活用する）。

補助者を含めてPTO軸や耕うん爪への巻込まれなどに注意する。



砕土ロータリー



コンビネーション・ハロー